

ガンマナイフ inside 同志による治療の核心



稀な腫瘍であるグロームス腫瘍について知見を深める

Long-Term Results of Gamma Knife Radiosurgery for Glomus Tumors : An Analysis of 32 Patients

Hellinger R Lら Cureus 13(9): e18095. DOI 10.7759/cureus.18095

紹介担当 岡村一心堂病院 蓮井 光一

(ガンマナイフ同志)

洛西シミズ病院 川邊拓也、青山総合病院 水松真一郎、

新須磨病院 近藤威、大田記念病院 中崎清之

国立循環器病研究センター 森久恵



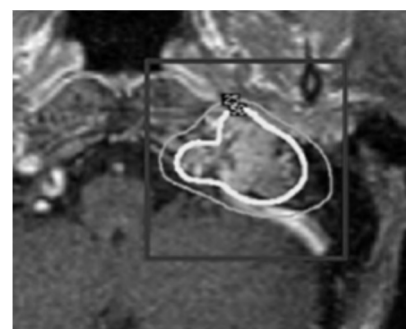
著者らが自施設でガンマナイフ治療を行ったグロームス腫瘍32症例の治療成績についての後方視的研究

【この報告の独自性】

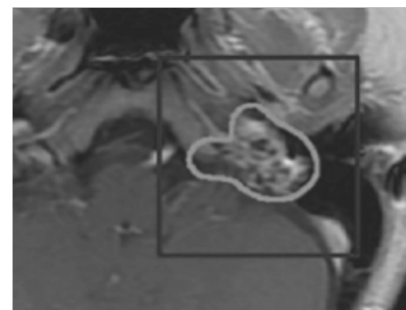
稀な疾患であり、まとまった数の報告は比較的少ない。その上で、自施設での治療成績を示し外科的治療などの他治療に比べガンマナイフ治療が有効で合併症の少ない安全な治療法である事を示した。

【結果の要点】

歴史的には外科的切除が行われてきたが、腫瘍の易出血性や腫瘍近傍脳神経の関連で術後合併症が多く見られた。放射線治療、特にガンマナイフ治療はその優秀な線量分布の特異性から90%以上の症例（著者自験例や他著者の報告においても）で腫瘍制御が得られ合併症もきわめて少なかった。よってガンマナイフ治療は手術の代替治療となり得る。



治療前



治療5年後

(文献画像を改変)

各ガンマナイフ治療医の意見

- 神経障害回避に分割照射を考慮してもよいのでは
- 術後再発症例であれば診断に問題ないが、初期治療となると他疾患（神経鞘腫、髄膜腫など）との鑑別が問題になるかもしれない
- 症状が軽く組織診断のないものは経過をみるかもしれない
- 画像診断での治療経験では、現時点で放射線感受性が高いとの印象はない

お問い合わせ



社会医療法人

岡村一心堂病院

TEL 086-942-9900

FAX 086-942-9929